

ほつと はつと ほうき

～伯耆町を
もつと知ろう～

**独自技術による
エコ商品の製造・販売**
 フジ化成工業株式会社
 本社大山工場
 誘致企業紹介

『最初は、福市で畳を作っていたそうです。』と、専務の高西さん。昭和41年に米子市福市に会社を設立し、ワラの代わり



整理整頓された工場ですと作業する様子



床材と合板などの下地材の間に「おとなしくん」をはさむことで優れた防振・防音性を発揮する。

に発泡スチロールを使用するといふ、当時としては画期的な畳の開発から始まり、その技術を応用して丈夫で軽い船の開発・製造をするようになりまし。工場が手狭になった昭和46年に、企業誘致によりこしが丘の日野川沿いに工場を移転し、本格的に船を製造し始めました。現在では、大山工場の主力商品である、外断熱・内断熱用断熱材「ロックセルボード」や防音マット「おとなしくん」など、主に建材の研究開発を行ない、独自技術により製造し、販売しています。

音性能に対し文部科学大臣から科学技術振興功労者として表彰されました。その他にも、廃棄物としかならない回収されたビデオテープや杉の皮、果ては泥までを固めることで、エコ商品を次々と開発し、鳥取県のグリーン商品の認定を受けているものが多くあります。また、それらの商品は海外でも高い評価を受け、韓国・中国・台湾などへも輸出されています。高西専務は『経費の削減や顧客の要望にお応えするために開発したものが、結果としてエコやリサイクルになっただけ』と淡々と話されました。



フジ化成工業株式会社 本社大山工場

会社データ

代表取締役	笠原 兼典
資本金	7,900万円
会社設立	昭和46年5月(本社大山工場)
社員数	23人(うち地元採用7人)
所在地	伯耆町大殿1241-1
社電	68-2721
H	http://www.fujikasei-kk.com



ちょこっと情報



スタート時、工場では漁船を製造しており、山の上での造船ということで当時はまちの話題に。今でも工場への坂道に船を運ぶための3本のレール跡が残っています。

『男女の間以外なら』とにかく固めることが得意で、大手企業など各方面からの研究・開発依頼も多く、エコ商品研究・開発

力に優れた企業としてしっかりと未来を見据えておられました。伯耆町総合スポーツ公園にこちらのエコ商品が活用されています。ぜひ探してみてください。

**大山友禅染
鳥取県伝統工芸士**

川原 栄次
かなよ さん
まの宝

「大山友禅染」を手掛ける川原さん夫妻は、長年の夢だった「染色工房&Cafe Gallery」を昨年5月にオープンしました。



二人三脚で創作活動をする川原夫妻

今年5月には、韓国・ソウル仁寺洞の韓国工芸文化振興院で「染色作品展」心を染めて」を開催、美術系大学の教授や学生をはじめ、多くの方との交流を深めました。来場者たちは、「大山友禅染」の繊細な色



韓国で開かれた「染色作品展一心を染めて」

川原栄次さんは、大阪の法律事務所に就職後、日本の染色の本場、京都で染色を学び、昭和57年に妻かなよさんの故郷である丸山にアトリエを開きました。以来、二人三脚で精力的に創作活動を行っています。

工房では、創作のほか草木染教室や作品展、ミニコンサートなども開催。さまざまな業種や地域の方との交流の拠点にもなっています。
 染色工房 & Cafe Gallery 染姫
 ☎ 5233502

憩いと潤いの空間

ささふく水辺公園
まのえーとこ

ひとときわ新緑が美しい広々とした公園が、日野川と野上川の合流点近くの河原にあるのをご存知でしょうか。

平成13年に全面完成したこの公園は、宮原集落の方々が運営している「楽々福水辺公園管理委員会」の手により美しく管理されています。

芝刈り、適時での散水、肥料



芝生が青々と美しいフリースペース

散布作業などきめ細かい管理により、年間1万人近い方々が気持ちよく利用しています。広さ35,790㎡の公園には、誰でも自由に遊べる広々とした芝生広場と、ゲートボール場4面、グランドゴルフ場1コース、休憩所などが整備され、毎年様々な大会や、夏休み昆虫観察会などが開催されています。ファミリーで、親しい方で、どうぞお気軽にご利用ください。



グランドゴルフ場は、定期的に場所を移しますので、変化に富んだプレーが楽しめる。

【お問合せ・利用申込み】
 楽々福水辺公園管理委員会
 ☎ 090-4806-9265